



2024年2月2日

各位

会社名 大平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 青山 正幸
 (コード番号 5541 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
 (TEL 03-3201-6681)

営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)において、営業外収益として持分法による投資利益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2023年10月31日に発表した通期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●営業外収益(持分法による投資利益)の内容

主にフィリピンの持分法適用関連会社において、堅調な需要に支えられ、すでに計上済みの2,827百万円に加え1,719百万円計上する見込みとなり、当第3四半期連結累計期間におきまして持分法による投資利益4,546百万円を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年10月31日発表)	百万円 15,874	百万円 △8,611	百万円 △3,511	百万円 △2,442	円 銭 △125.22
今回修正予想(B)	15,586	△8,740	△3,242	△1,138	△58.35
増減額(B-A)	△288	△129	269	1,304	
増減率(%)	△1.8	—	—	—	
(参考)前期実績(2023年3月期)	34,852	△12,588	△4,960	△5,026	△257.75

2. 修正の理由

連結業績予想につきましては、長期化するウクライナ情勢は引き続き国内外経済へ影響を及ぼしており、また、欧米等の累積的な金融引き締めの影響や、中国の不動産問題を背景とした景気後退懸念は、経済の先行きをより不確実性の高いものとしております。

当社フェロニッケル製品の数量面については、環境に大きな変化は見られず、収益性の観点から数量抑制の方針を継続しており、前回公表計画と比べて減少を見込んでおります。

損益について、フェロニッケル製品の販売価格面では、当社適用価格相場に加えて価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準のため収入は一定程度抑えられ、また、調達価格面では、主原料であるニッケル鉱石価格及び原燃料や電力の価格は高水準で推移しているため、引き続き影響を与えることが見込まれます。

その他では、棚卸資産簿価切下げ額について、上期は追加計上の一方、下期では簿価切下げ額の縮小で戻入れ額が発生することにより、上期と下期の損益傾向は異なることが見込まれます。また、2024年1月18日付「特別利益(投資有価証券売却益)の計上に関するお知らせ」のとおり、特別利益へ投資有価証券売却益の計上が見込まれます。

このように、厳しい状況は継続しておりますが、こうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き強く推し進めて参ります。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2023年10月31日)	3,052	3,148	6,200	3,210	2,848	6,058	10.78	9.27	10.01	140.18	139.22	139.69
今回修正予想	3,052	2,998	6,050	3,210	2,805	6,015	10.78	8.43	9.61	140.18	146.29	143.21
(参考)前期実績 (2023年3月期)	5,668	6,725	12,393	8,079	5,301	13,380	12.12	11.11	11.57	131.49	138.44	135.26

以上